

わたしたちの暮らしと 地域経済を支えるインフラ

インフラの整備は「未来への投資」であり、将来の経済成長の基盤となり、安全で豊かな生活の実現に資するストック効果の高い事業を戦略的に進めていく必要があります。

本県では、県民生活や経済活動を支える交通基盤の整備・機能強化、国土強靱化に向けた防災・減災対策等を重点的に推進し、『暮らしの豊かさ日本一の宮崎』を実現します！

この事例集は、このような本県の取組を紹介します。



西臼杵地域で初めてとなる高速道路が開通!!

平成31年1月
宮崎県 県土整備部



目 次

【安全・安心の確保】

- P 1 <河川> 地域特性に応じた整備で **早期に住民の不安を解消！**
- P 2 <砂防> 要配慮者利用施設等への重点対策で **地域防災力の向上！**
- P 3 <都市・港湾> 多様な避難施設の整備に伴う **防災意識の醸成！**
- P 4 <高速> 大規模災害発生時に **支援路・代替路として機能！**
- P 5 <道路> 交通途絶を回避するため **耐災害性を強化！**
- P 6 <道路> 地域のニーズに応じた **安全な道路空間の確保！**

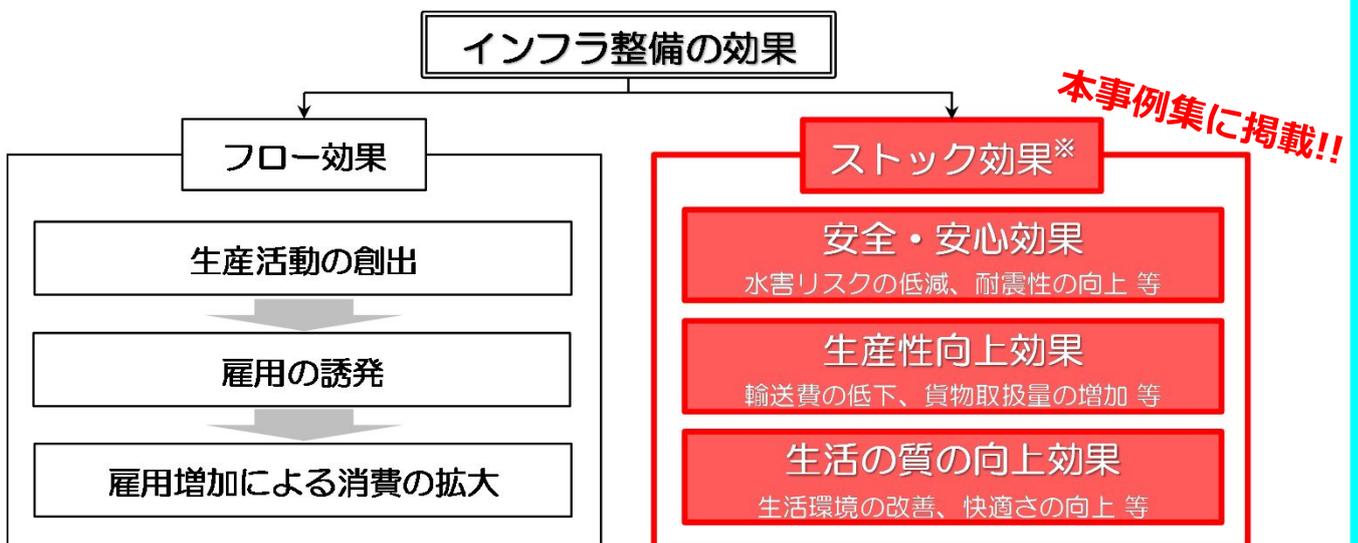
【力強く持続的な経済成長の実現】

- P 7 <高速> 人流・物流の活性化で **経済成長を牽引！**
- P 8 <道路> 物流拠点へのアクセス向上で **民間投資を誘発！**
- P 9 <港湾> 地域の雇用と経済を支える **基幹産業の競争力強化！**
- P 10 <港湾> 官民連携で加速する **物流機能の強化！**
- P 11 <港湾> クルーズ船受入施設整備で **おもてなしの取組拡大！**

【豊かな暮らしの礎となる地域づくり】

- P 12 <都市> コンパクトシティの取組で **まちなかの魅力が向上！**
- P 13 <道路> 観光需要の高まりを踏まえ **地域のニーズに対応！**
- P 14 <河川> 人と川のつながりの再生を目指す **過去への挑戦！**
- P 15 <都市> 公園施設整備で **スポーツランドみやざきに貢献！**

ストック効果とは？



※整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期的にわたり得られる効果

地域特性に応じた整備で 早期に住民の不安を解消！



平成17年9月台風14号豪雨 ～大淀川(高岡地区)出水状況～

短期間で家屋等の浸水被害を解消!!

土地利用一体型水防災事業
(平成22年度～平成29年度)



築堤(新設)



築堤(嵩上げ)

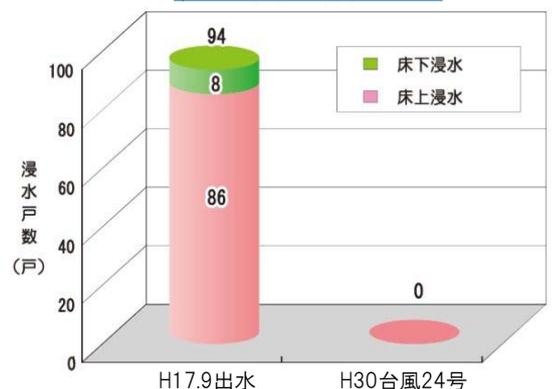


宅地嵩上げ



地域特性に応じて
整備手法を選択!!

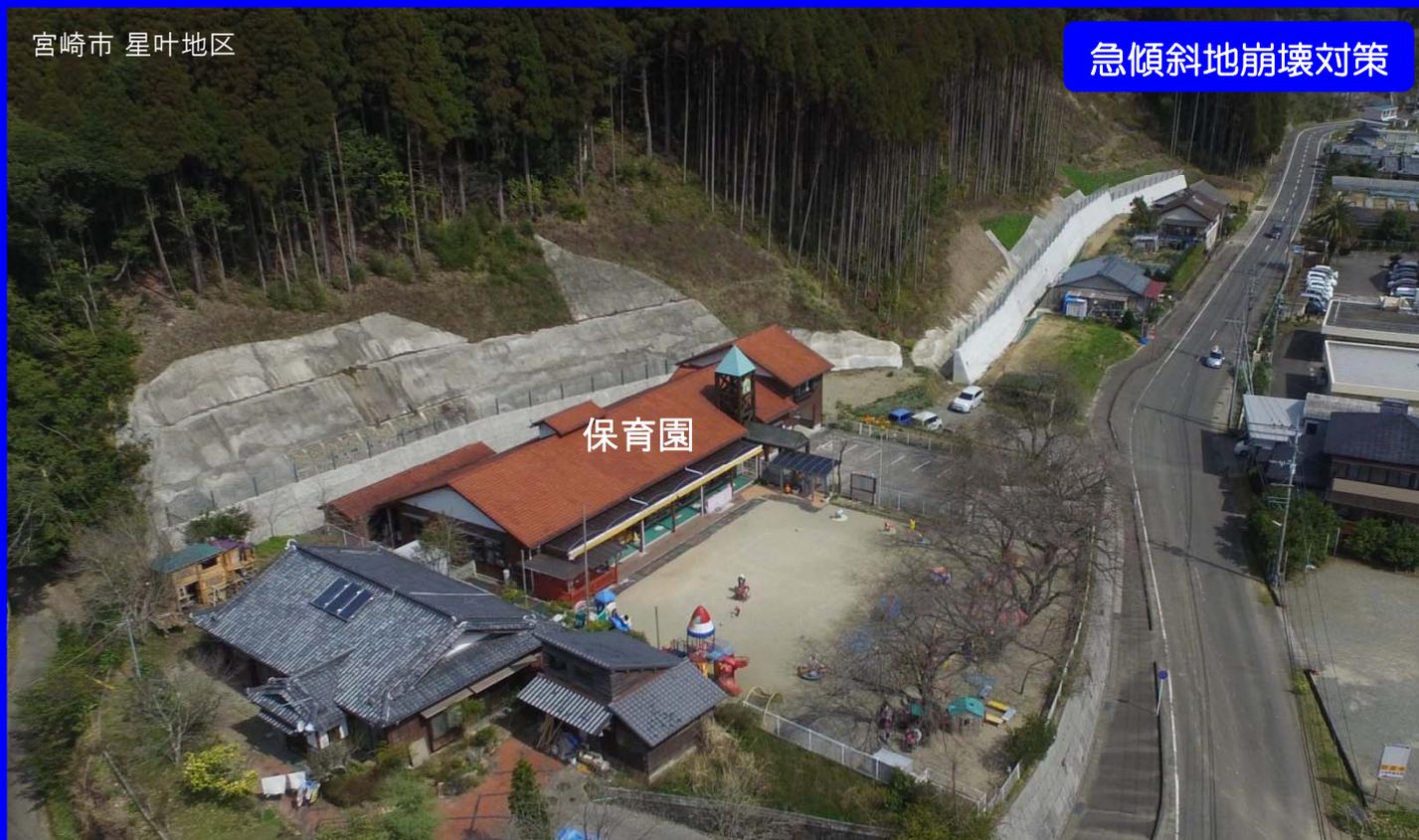
整備効果



要配慮者利用施設等への重点対策で 地域防災力の向上！

宮崎市 星叶地区

急傾斜地崩壊対策



保育園

要配慮者利用施設や避難場所等が存在する
土砂災害の恐れのある区域を**重点的に整備**

要配慮者利用施設(重要施設)を有する危険箇所の整備率 **68.2%** (45箇所/66箇所)

避難場所を有する危険箇所の整備率 **47.5%** (150箇所/316箇所)

※平成30年3月末現在

対策施設が効果を発揮し、県内各地で大雨となった
平成30年台風24号においても、**土砂災害による人的被害ゼロ！**

西都市 青山地区

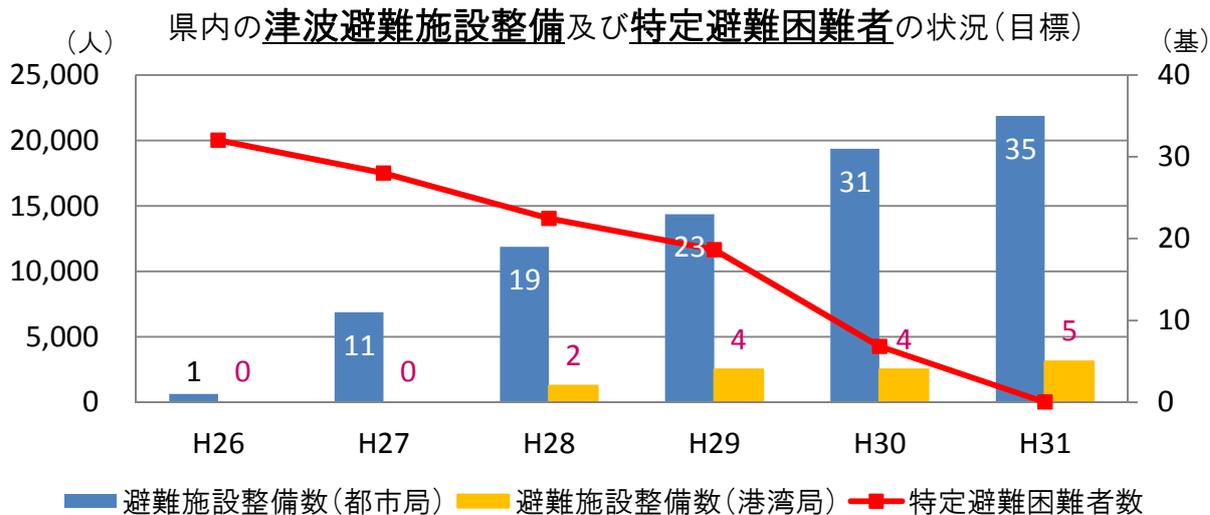


延岡市 柳瀬地区

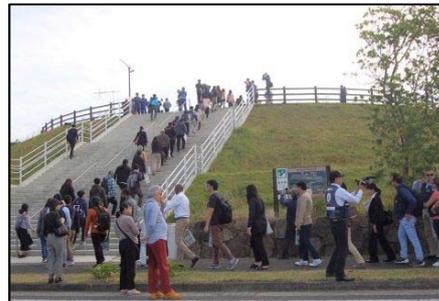
土砂災害は毎年発生しており、**ハード・ソフト一体となった
総合的な土砂災害防止対策により安全・安心の確保を目指す!!**

多様な避難施設の整備に伴う 防災意識の醸成！

津波避難対策

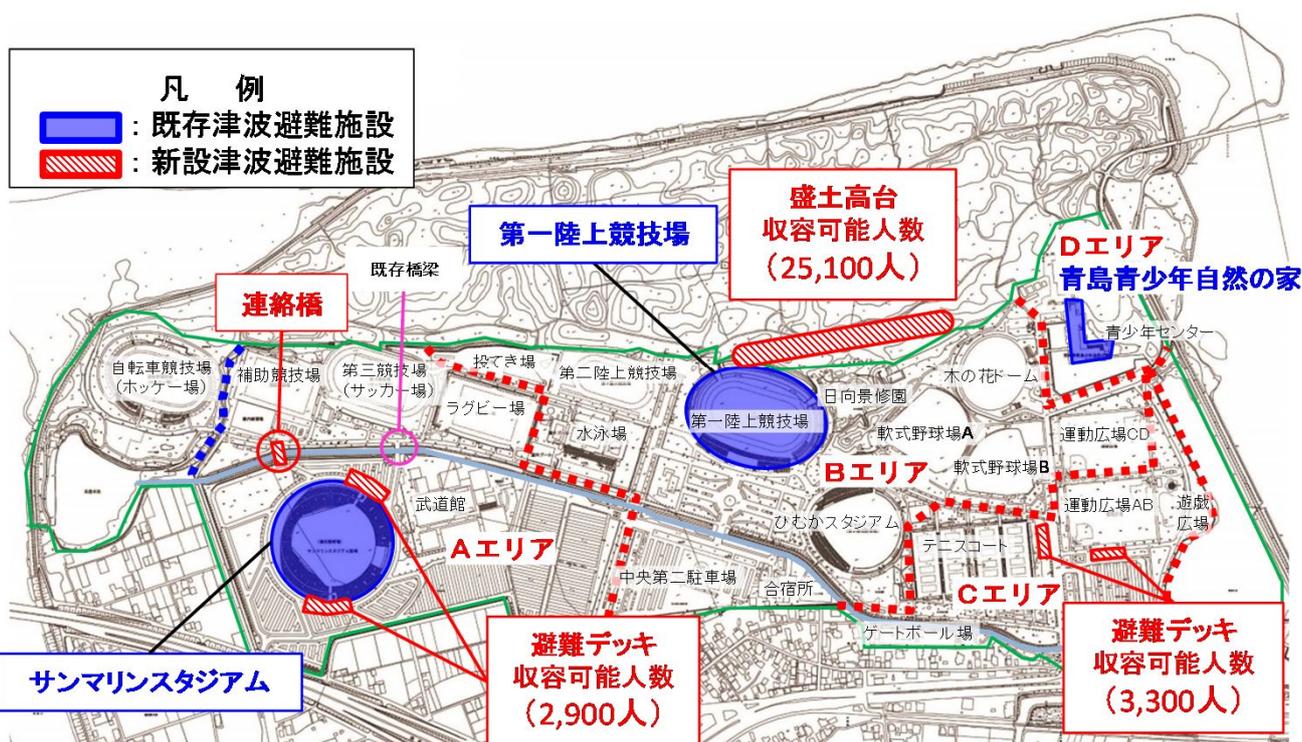


施設整備をきっかけに、避難訓練や勉強会などの地域の取組が拡大！



県総合運動公園の津波避難施設整備計画

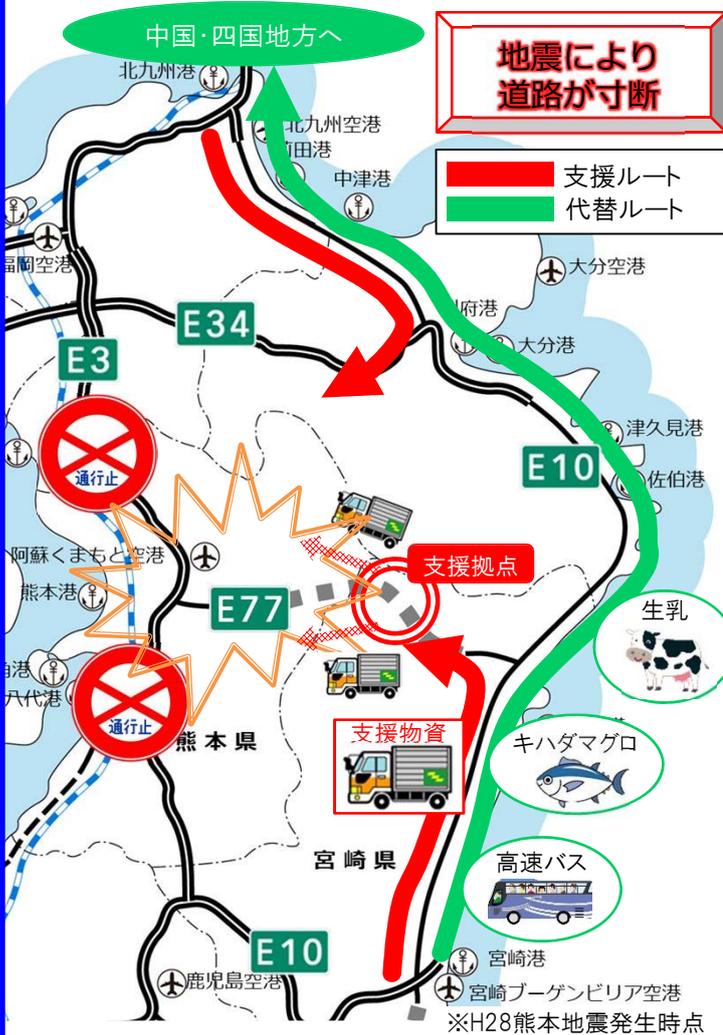
新たな津波避難施設を5箇所整備し、公園利用者の更なる安全を確保!!



大規模災害発生時に 支援路・代替路として機能！

東九州道・九州中央道

熊本地震発生後において、東九州自動車道、九州中央自動車道が被災地の復興及び九州全体の経済を支える役割を果たす！



被災地への支援ルートとして機能

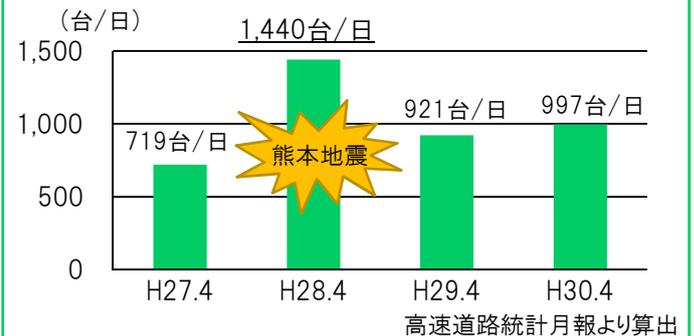
ボランティア・支援物資を輸送



九州縦貫自動車道の代替ルートとして機能

東九州自動車道の中型車以上の交通量増加

【中型車以上交通量推移(門川IC～清武南IC)】



求められるミッシングリンク解消と4車線化

ミッシングリンク解消

南海トラフ地震発生時の支援ルート確保

〔南海トラフ地震発生時
東九州地域沿岸部は津波により地域が孤立〕

暫定2車線区間の4車線化

高速道路が被災した際、早期の交通機能回復

〔熊本地震の際
九州縦貫自動車道は4車線のため、上り線を利用し
早期に交通機能を確保〕

災害に強い
道路ネットワーク

安全・安心の確保



交通途絶を回避するため 耐災害性を強化！

大規模地震発生時に優先して啓開する道路の**橋梁耐震化を推進!!**

道路機能強化

緊急輸送道路の
耐震対策済率

(平成30年3月末現在)

約 **78%**

南海トラフ地震発生時
主な救援・支援ルート



主要地方道 日南高岡線

緊急輸送道路の
防災対策済率

(平成30年3月末現在)

約 **56%**

災害発生直後から緊急車両の通行を確保すべき道路の**防災対策を推進!!**

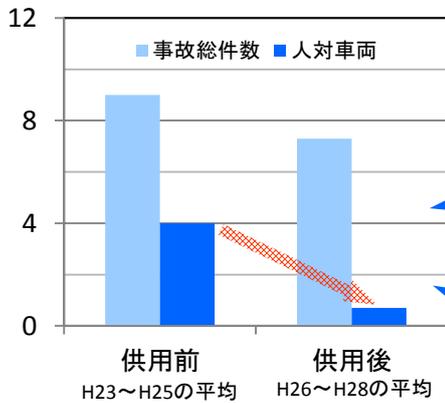
地域のニーズに応じた 安全な道路空間の確保！



都市計画道路 蚊口高月線（中央通工区） [主要地方道 高鍋高岡線]

整備効果

事故発生件数の減少



歩道が広いのでとても安心して歩ける。歩道のデザインも気に入った。（中学生）

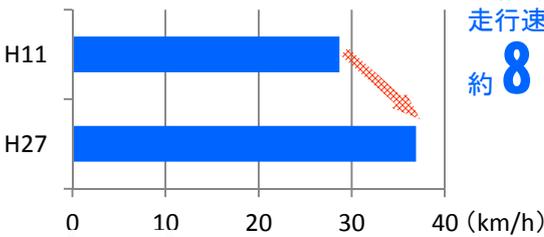
人対車両の事故が約 **8** 割減

歩きやすい、車が通る時に安心して歩ける。（小学生）

危ないと思うことが少ない、通学しやすくなった。（高校生）



交通混雑の解消



混雑時の走行速度が約 **8** km/h 向上



県管理道の要対策箇所

緊急合同点検等による抽出

246 箇所

通学路の対策済率

(平成30年11月末現在)

約 **90%**

整備前混雑状況



一般県道 木城高鍋線（青木工区）

整備前



整備後



人流・物流の活性化で 経済成長を牽引！



東九州道・九州中央道

着実に進む高速道路整備

供用率 (H22) 31% → (H29) 63%
(東九州道+九州中央道)

H22以降 県内高速道路順次開通

H27.3 東九州道(大分市～宮崎市)開通

H30.3 東九州道(日南北郷～日南東郷)開通

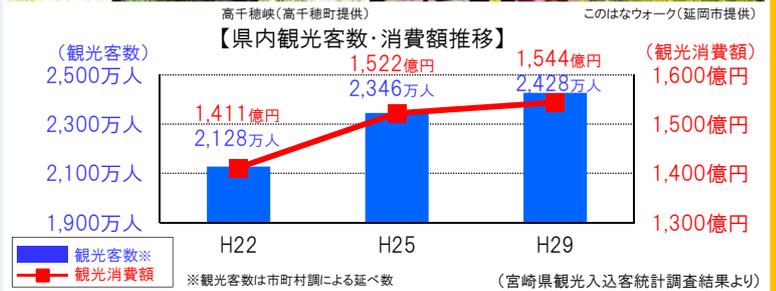
H30.11 九州中央道(雲海橋～日之影深角)開通



観光客の増加

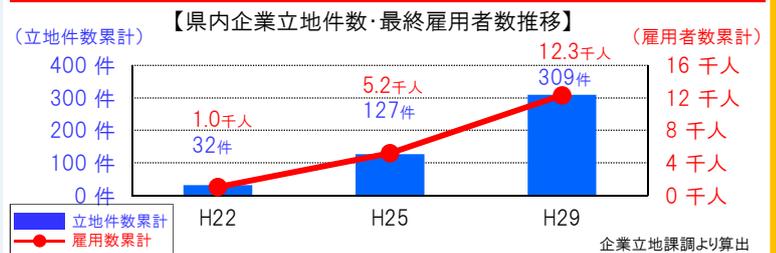
観光消費額増加

(H22) 約1400億円 ⇒ (H29) 約1500億円



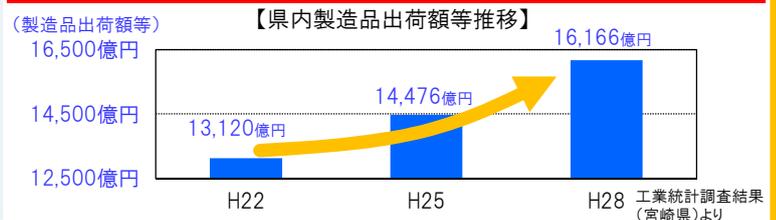
進む企業立地

企業立地件数 309件 (H22~H29累計)
最終雇用予定者数 12,278人 (H22~H29累計)



企業活動の活性化

製造品出荷額1.2倍!!
(H22) 約13,120億円 ⇒ (H28) 約16,166億円



ミッシングリンク解消

暫定2車線区間の4車線化

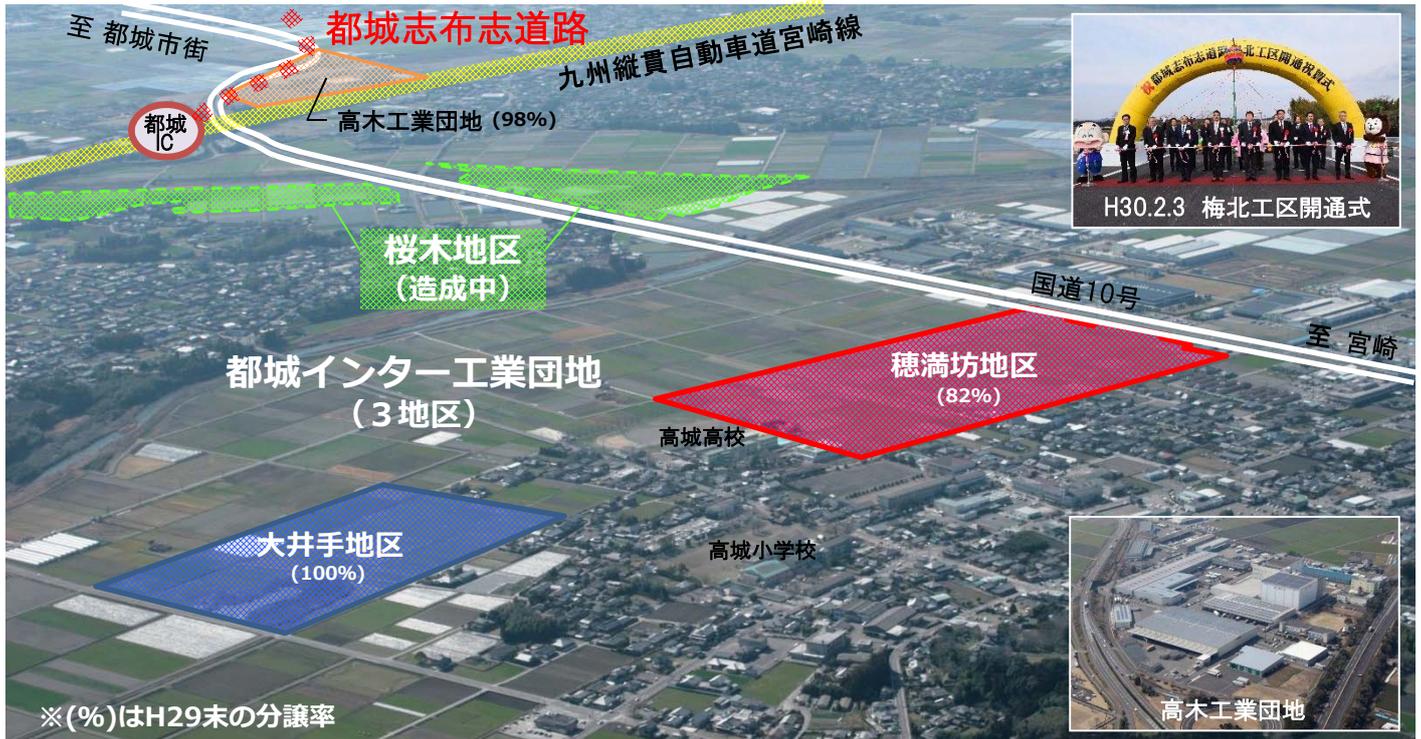
人流・物流ネットワークの強化

経済成長
実現

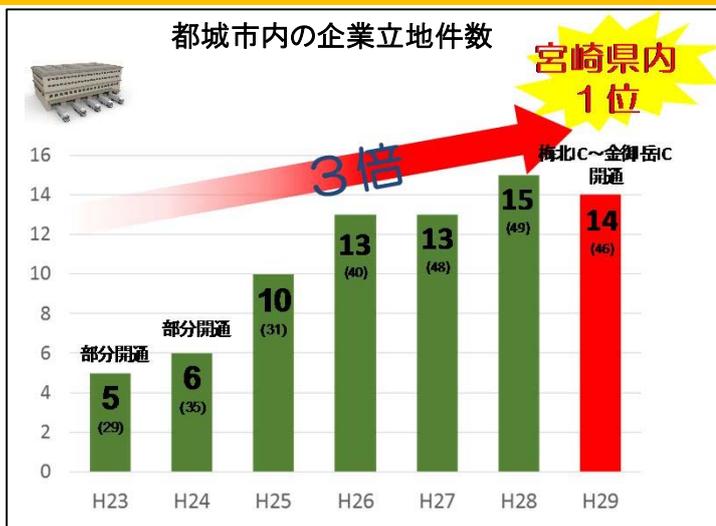
物流拠点へのアクセス向上で民間投資を誘発！

さらなる企業誘致に向け、**新たな工業団地を造成中!!**

都城志布志道路



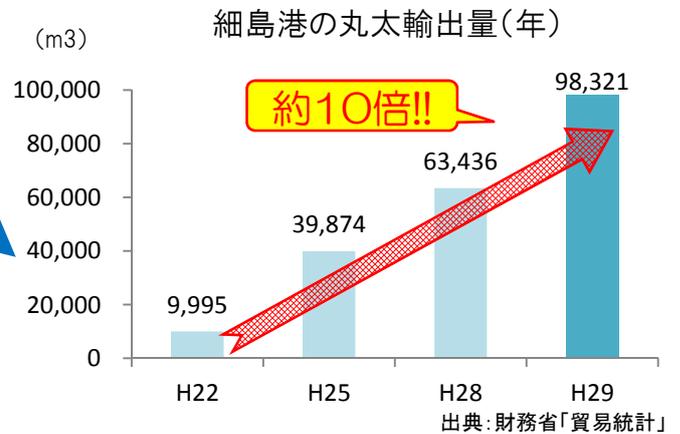
全線開通 (都城IC～志布志港 70分⇒40分) を見越し、経済活動が活性化!!



地域の雇用と経済を支える 基幹産業の競争力強化！



木材消費量の拡大



雇用の創出

中国木材(株) (平成27年6月稼働)



国内製材最大手の工場が増設中(2019年1月稼働予定)

2020年には、原木取扱量1.6倍(H28比) 新規雇用100人

RORO船の大型化

2020年1月(予定)「HAKKOひなた」として大型化



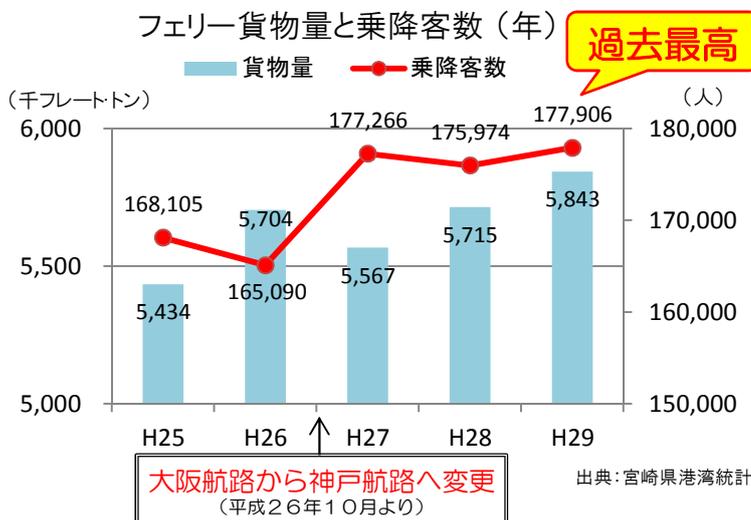
貨物積載量を約2倍とし、これまで載せきれなかった貨物の受け入れが可能となる

官民連携で加速する 物流機能の強化！

重要港湾 宮崎港



フェリーの利用状況



周辺交通網の整備

取扱貨物量の増加が期待される



フェリー貨物の約7割が農畜産物(重量ベース)

本県産農畜産物の約1/4に相当

一関西以遠への輸送に大きな役割を担っている

出典: 総合交通課資料

官民連携による カーフェリー大型化

2022年为目标 カーフェリー新造船 就航計画

- ▶ トラック積載台数の増加で、ドライバーの負担軽減
- ▶ 都市圏に向け、安価で大量輸送が可能
- ▶ 個室増加で、多様な旅客ニーズに対応

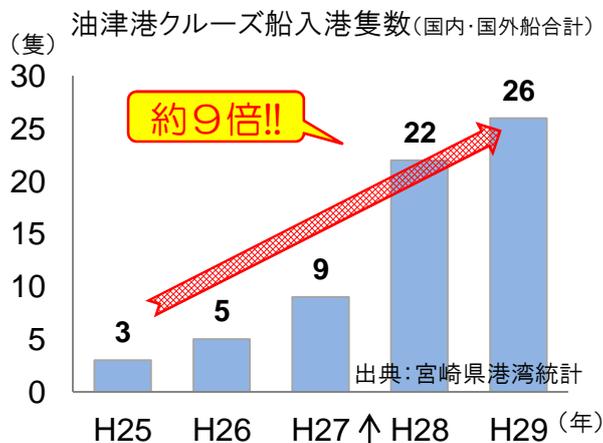
ターミナルのインバウンド対応



クルーズ船受入施設整備で おもてなしの取組拡大！



クルーズ寄港拡大



**H27着脱式防舷材・係船柱の設置
16万トン級クルーズ船が入港可能**

経済波及効果

約7千万円(1回寄港当たり)

出典: H27宮崎県観光推進課資料より試算
(油津港2回寄港の平均)

受入拡大に向けて

平成30年から
**世界最大22万トン級までの
クルーズ船が寄港可能**

(全長362m 船幅64m 乗客定員5,400人)

地域一体のおもてなし

◎地元高校生によるおもてなし



◎地域体験型ツアー



◎クルーズ船周辺でのおもてなし



コンパクトシティの取組で まちなかの魅力が向上！



既存ストックの活用により空間的充実とコスト縮減を実現

旧図書館の約3倍の床面積 約31億円の整備コスト縮減 (同規模図書館の新設と比較)



改修前(旧ショッピングモール)



ライトアップ



改修後(図書館等)

効

◎中核施設全体の利用者数が大幅増加

【当初予測(成果指標)】

約43万人/年 ⇒ 開館後半年で100万人を突破

※子育て世代活動支援センターは予測の約13.6倍、図書館は約4.9倍

果

◎中心市街地の新規開業店舗数が増加

【開館前(H29年度)】9件/年 ⇒ 開館後半年で16件が新規出店

◎中心市街地の歩行者通行量が回復傾向

【開館前(H29年度)】155/日 ⇒ 369人/日(開館4ヵ月後)

観光需要の高まりを踏まえ 地域のニーズに対応！

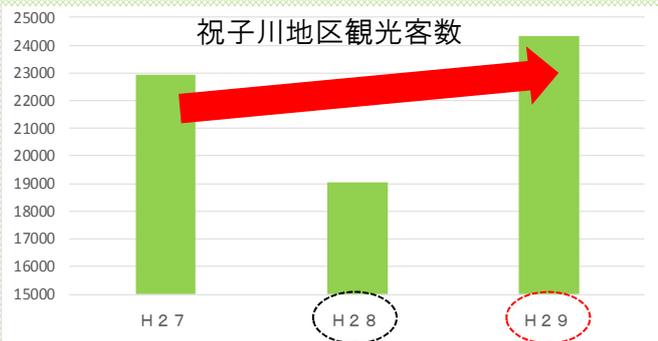
上祝子綱ノ瀬線・岩戸延岡線

『祖母・傾・大崩山のエコパーク』の登録(2017.6)を受け、ツアーや登山等を目的に観光客が増加!!



1.5車線の道路整備で離合困難箇所の早期解消を図る!!

祖母・傾・大崩山エコパーク登録を受け、観光客数が増加!!



熊本地震の影響 エコパーク登録

整備前

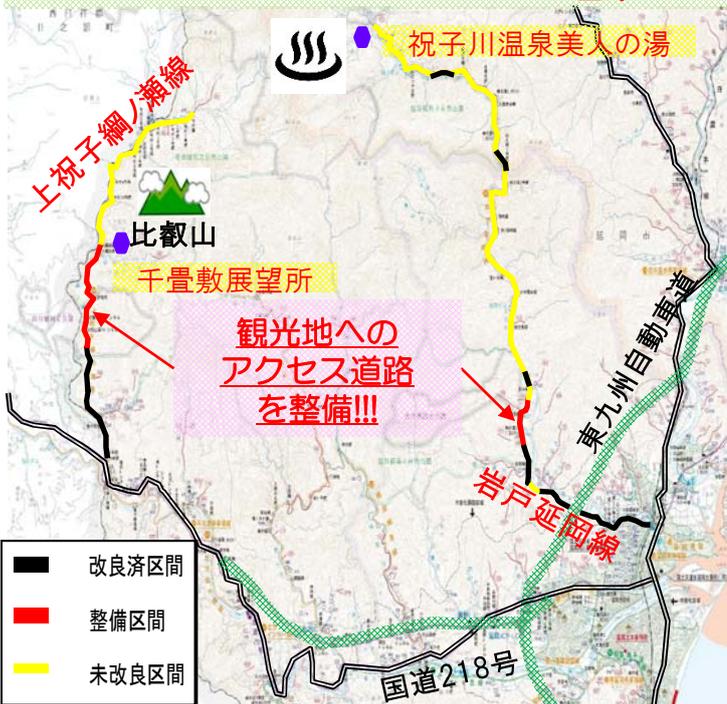


完成後



離合が可能に!!

平成30年11月完成



相乗効果

エコパーク内の観光地を巡るバスパックやバスツアーが開催され始めている。

【バスパック】
宮崎交通
H30.10.1より開始

【バスツアー】
高千穂町観光協会
H30.11.23に開催

平日のみ運行

バスに乗って「祝子川温泉」に行こう!!

延岡駅～祝子川温泉間

2018年10月1日より

大人片道 1,080円が **500円!!**

最大自然を眺めながら温泉でも休ませよう!!

祝子川温泉バスパック

開催期間: 2018.10.1～2019.3.31

料金: 大人片道 1,080円が 500円

人と川のつながりの再生を目指す 過去への挑戦！

「直線的な河川」を「蛇行した川幅の広い河川」に復元!!

神代川

以前の神代川(昭和30年代)



現在の神代川

以前の天真名井(昭和30年代)



現在の天真名井



←神代川(整備前)

←神代川(整備中)

親しみのある水辺空間が創生され、人と川のつながりが復活!!

きらめきタイム(地元小学校の授業)



地元住民による現地確認



公園施設整備でスポーツランドみやざきに貢献！

プロ・アマの各スポーツ団体が利用!!

青島

県総合運動公園



施設整備による利用環境の整備

サンマリスタジアムのスコアボード改修



巨人軍宮崎キャンプ60周年記念試合に合わせ、
老朽化していたスコアボードをフルカラーLEDパネルへ改修

2020年東京五輪・パラリンピック事前キャンプ



第1陸上競技場が
ドイツ陸上競技連盟のキャンプ地に決定！

サンマリスタジアムのグラウンド改修



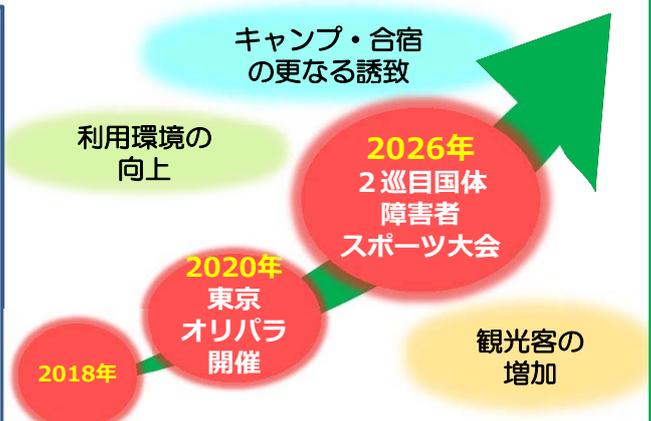
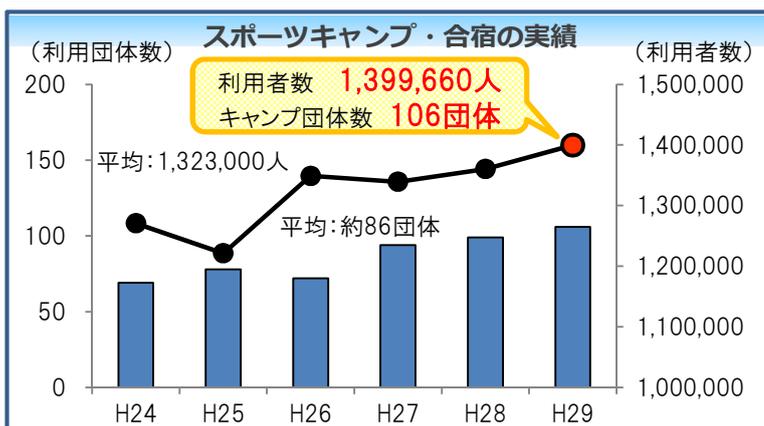
U18アジア野球選手権大会の開催に合わせ、
土グラウンドと段差が生じていた芝生グラウンドを全面張替

第1陸上競技場のトラック改修



東京五輪・パラリンピックの事前キャンプに向け、
トラック舗装を改修

利用環境を向上し、更なる利用者の増加を目指す!!





国文祭・芸文祭みやざき**2020**

宮崎県におけるインフラのストック効果事例集 (vol.5)

平成31年1月発行

宮崎県県土整備部